

# 令和元年度を振り返って

教職センター長 石 原 義 文

平成から令和へと新たな年号に替わるという節目の年は、本学にとっても記念すべき年となりました。教育学部が設置され新しい教職課程がスタートし、男女共学制への移行も同時に始まり、名称も広島文教大学となりました。様々な教育効果を考慮した、主に教育学部が使用する美しい新1号館も完成しました。教職センターは独立した組織となり、教職資料室とともに、この1号館に設置されました。学生にとっても訪問、利用しやすくなりました。関係各位のこれまでのご苦勞に対し、深く敬意を表したいと思います。

本年度は、教育学部の始動と新教職課程の実施に伴い、具体的な運営について教育学部の先生方や、関係部門、事務の方々と協議を行ってきました。手続きを進めて行く中で、平素より関係各所との連絡を密にとることの重要性を強く感じた1年でした。関係各位のご理解とご協力に、教職センターとして改めてお礼を申し上げる次第です。

本学における教員養成の理念は、建学の精神と「心を育て 人を育てる」という教育理念に基づき、高度な専門的知識や技能を修得し、同時に、教育の専門家としての資質・能力を持った教員・保育士を育成することです。

言い換えれば、「専門職としての高度な知識・技能」、「教職に対する責任感、探求心」、「教職生活全体を通じて自主的に学び続ける力」、「総合的な人間力」を兼ね備えた人材を育成することを目指しています。本学はこれまで、このような理念の元、質の高い教員・保育者を地域社会に配してきたと自負するところではありますが、新学部スタートと共に、さらなる教育内容の充実、教育方法の改善に等々努力を続けていく必要があると考えます。

教職センターは、これまでも増して学生へのきめ細かな支援を行うとともに、教員の指導力の向上に向けて取組を進めていきたいと思っています。増々のご協力とご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。